

平成27年度 幸保育園 第三者評価シート

通番	評価番号	評価対象	判断基準				コメント
			優良	良	可	不可	
1	I 1-1	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮し作成されている	優良	良	可	不可	全職員へさらなる周知を図りたい
2	I 1-2	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	優良	良	可	不可	確認済
3	I 1-3	一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	優良	良	可	不可	〃
4	I 1-4	一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている	優良	良	可	不可	各種会議の会議録の回覧を確認済
5	I 1-5	一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じ開催している	優良	良	可	不可	ミーティング、職員会議、ケース会議の開催
6	I 2-6	登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状況に応じて実施している	優良	良	可	不可	確認済
7	I 2-7	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	優良	良	可	不可	発育カード、身体状況記録簿確認済
8	I 2-8	感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している	優良	良	可	不可	確認済
9	I 2-9	専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている	優良	良	可	不可	〃
10	I 2-10	日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている	優良	良	可	不可	〃
11	I 2-11	食事を楽しむことができる工夫をしている	優良	良	可	不可	園庭菜園等の拡充を検討されたい
12	I 3-12	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	優良	良	可	不可	確認済
13	I 3-13	生活の場に相応しい環境とする取組を行っている	優良	良	可	不可	建物の老朽化が見られるが、遮光ネットは優良
14	I 4-14	子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている	優良	良	可	不可	判断基準適合
15	I 4-15	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している	優良	良	可	不可	〃
16	I 4-16	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	優良	良	可	不可	〃
17	I 4-17	身近な自然や社会と関われるような取組みがされている	優良	良	可	不可	現行は評価できるが地場産業との連携を検討されたい
18	I 4-18	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	優良	良	可	不可	判断基準適合。鼓笛隊活動。
19	I 4-19	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している	優良	良	可	不可	地域機関等との連携を継続されたい。
20	I 4-20	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	優良	良	可	不可	判断基準適合
21	I 4-21	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	優良	良	可	不可	〃
22	I 4-22	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	優良	良	可	不可	〃
23	I 4-23	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	優良	良	可	不可	〃
24	I 4-24	障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	優良	良	可	不可	〃
25	II 1-1	一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている	優良	良	可	不可	早期発見・早期療養に努められたい
26	II 1-2	家庭の状況や保護者との情報交換が必要に応じて記録されている	優良	良	可	不可	保育日誌・相談記録等確認済
27	II 1-3	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	優良	良	可	不可	〃
28	II 1-4	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている	優良	良	可	不可	〃
29	II 1-5	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	優良	良	可	不可	子ども政策課等との連携あり。
30	II 2-6	多様な子育てニーズを把握するための取組を行い、それを事業に反映している	優良	良	可	不可	保護者の意識の高まりに対応している
31	II 3-7	育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取組を行っている	優良	良	可	不可	家庭支援事業以外にも親子の交流を検討されたい

32	II 3-8	一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	優良	良	可	不可	判断基準適合
33	III 1-1	保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している	優良	良	可	不可	地域の関係機関との交流あり
34	III 1-2	子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている	優良	良	可	不可	嘱託医確認済
35	III 1-3	育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている	優良	良	可	不可	園以外の各種相談もあるとのこと。継続されたい
36	III 1-4	小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある	優良	良	可	不可	地域での総合連携がある。継続されたい
37	III 1-5	民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている	優良	良	可	不可	町会、老人会との連携がある
38	III 1-6	近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている	優良	良	可	不可	園行事で地域への配慮が見られる
39	III 1-7	中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている	優良	良	可	不可	判断基準適合
40	III 1-8	実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている	優良	良	可	不可	〃
41	III 2-9	ボランティアを受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている	優良	良	可	不可	〃
42	IV 1-1	保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている	優良	良	可	不可	確認済
43	IV 1-2	保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている	優良	良	可	不可	全職員にさらなる周知を図られたい
44	IV 2-3	保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている	優良	良	可	不可	判断基準適合
45	IV 2-4	保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている	優良	良	可	不可	〃
46	IV 2-5	職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している	優良	良	可	不可	〃
47	IV 3-6	守秘義務の遵守を周知している	優良	良	可	不可	〃
48	IV 4-7	情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている	優良	良	可	不可	〃
49	IV 4-8	保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している	優良	良	可	不可	〃 水泳や英会話教室の実施
50	IV 5-9	事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	優良	良	可	不可	確認済
51	IV 5-10	事故防止のための具体的な取り組みを行っている	優良	良	可	不可	〃
52	IV 5-11	調理場、水回りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	優良	良	可	不可	〃

第三者評価について

平成 28 年 1 月 12 日 社会福祉法人和泉幸生会幸保育園において、関係理事、園長、職員に対し第三者評価を実施しました。評価項目対象について関係帳票や園内施設を確認しながら詳細なヒアリングを行った結果は上記のとおりです。当保育園は全体として優良な運営が行われていますが、近年の子ども・子育ての重要性に鑑みさらなる努力と研鑽を重ねられ、地域の子育ての拠点として発展されることを願います。

平成 28 年 2 月 2 日

第三者評価者 和泉市前こども部長 木下 俊次